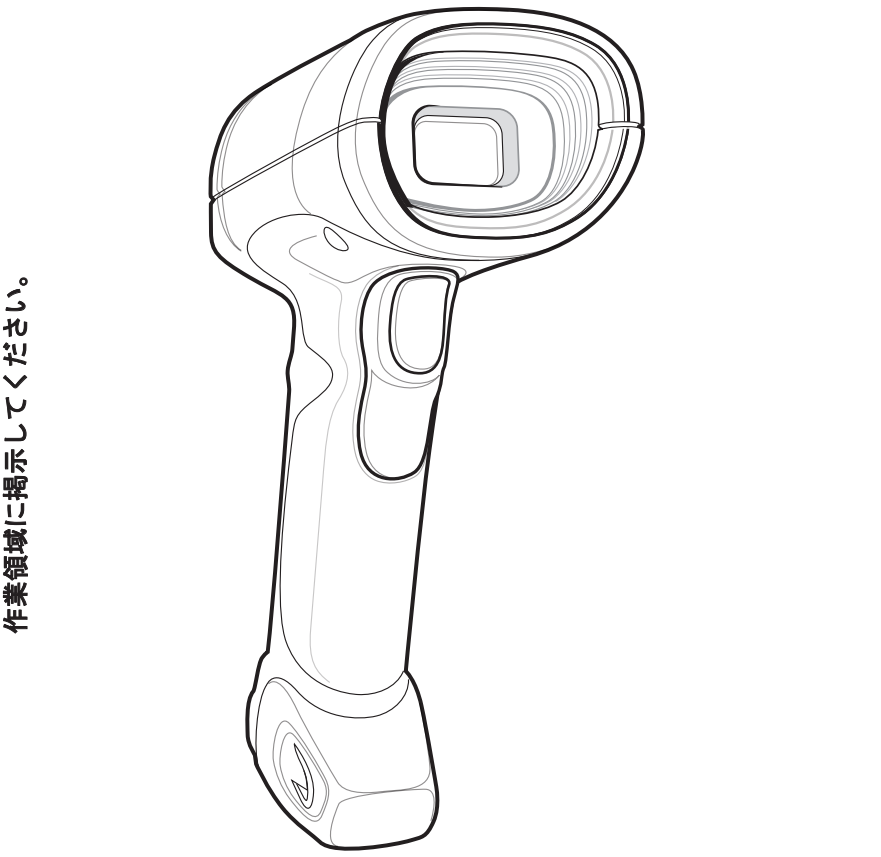


SYMBOL DS3508

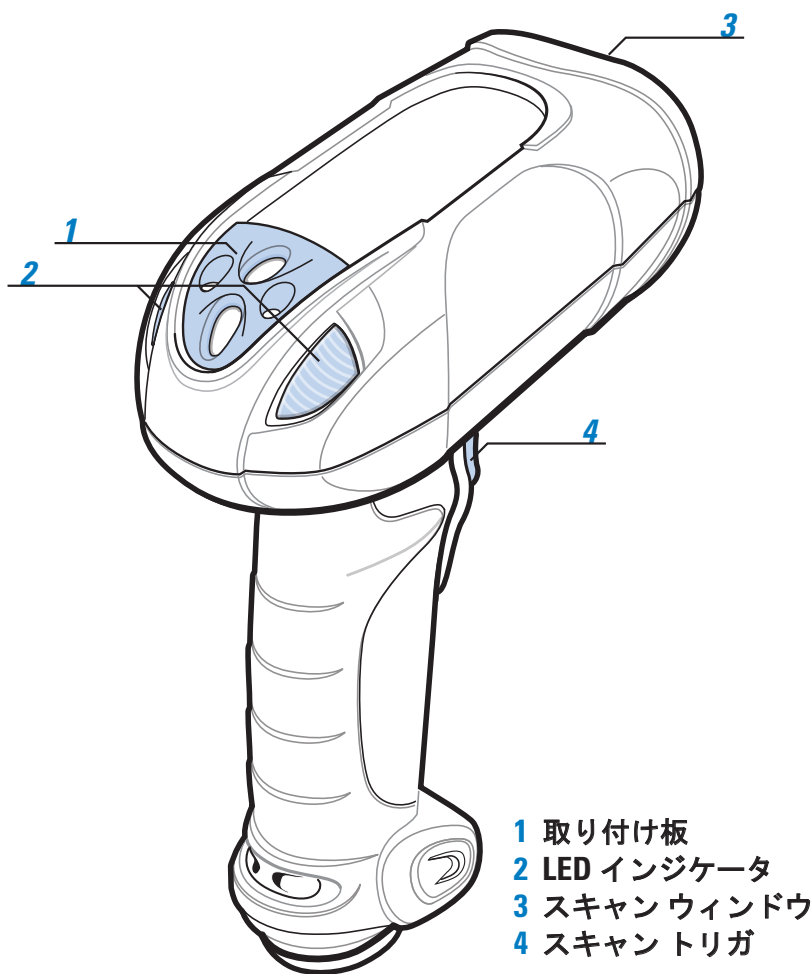
クイック スタート ガイド

<http://www.motorola.com/ds3508>

詳細は、『Product Reference Guide』を参照してください。

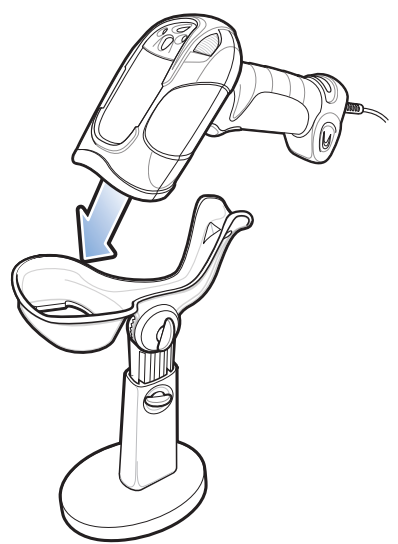


作業領域に指示してください。

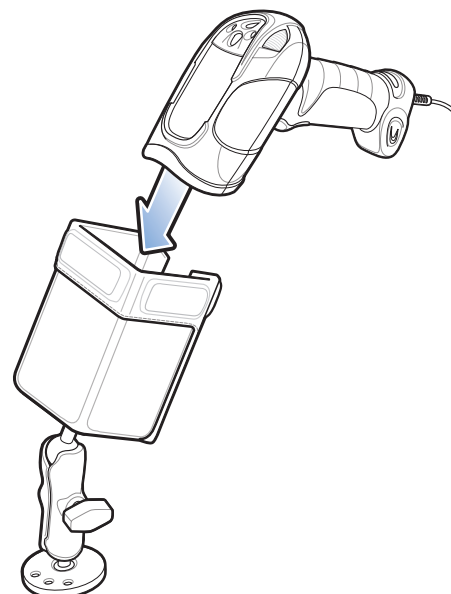


- 1 取り付け板
- 2 LED インジケータ
- 3 スキャンウィンドウ
- 4 スキャントリガ

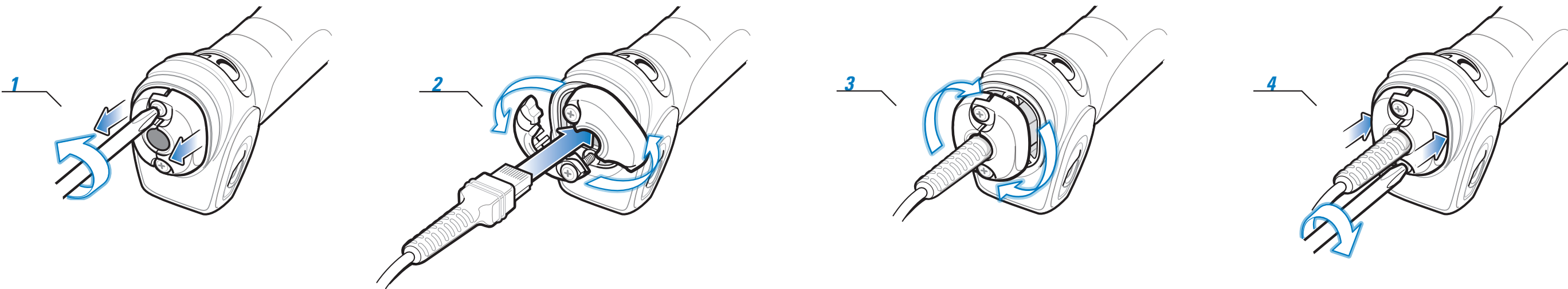
インテリスタンド



フォークリフト用ホルダー



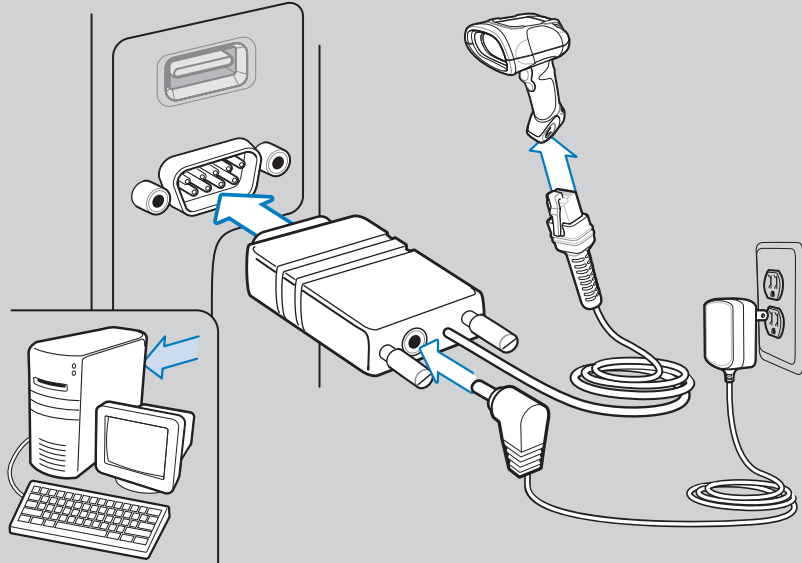
付属コード



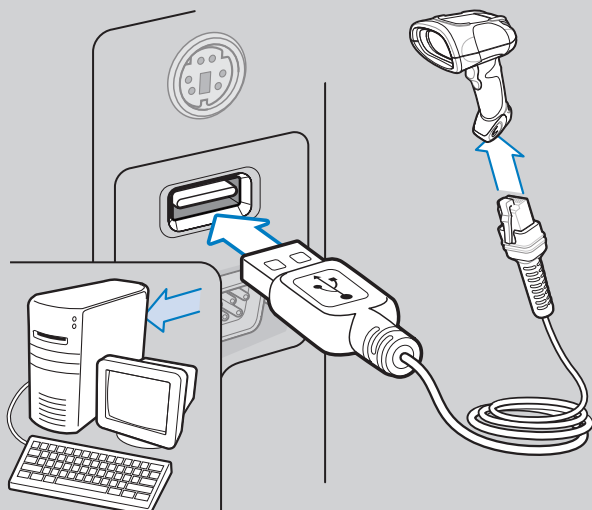
ホスト インタフェース

注意:必要なケーブルは設定によって異なります。

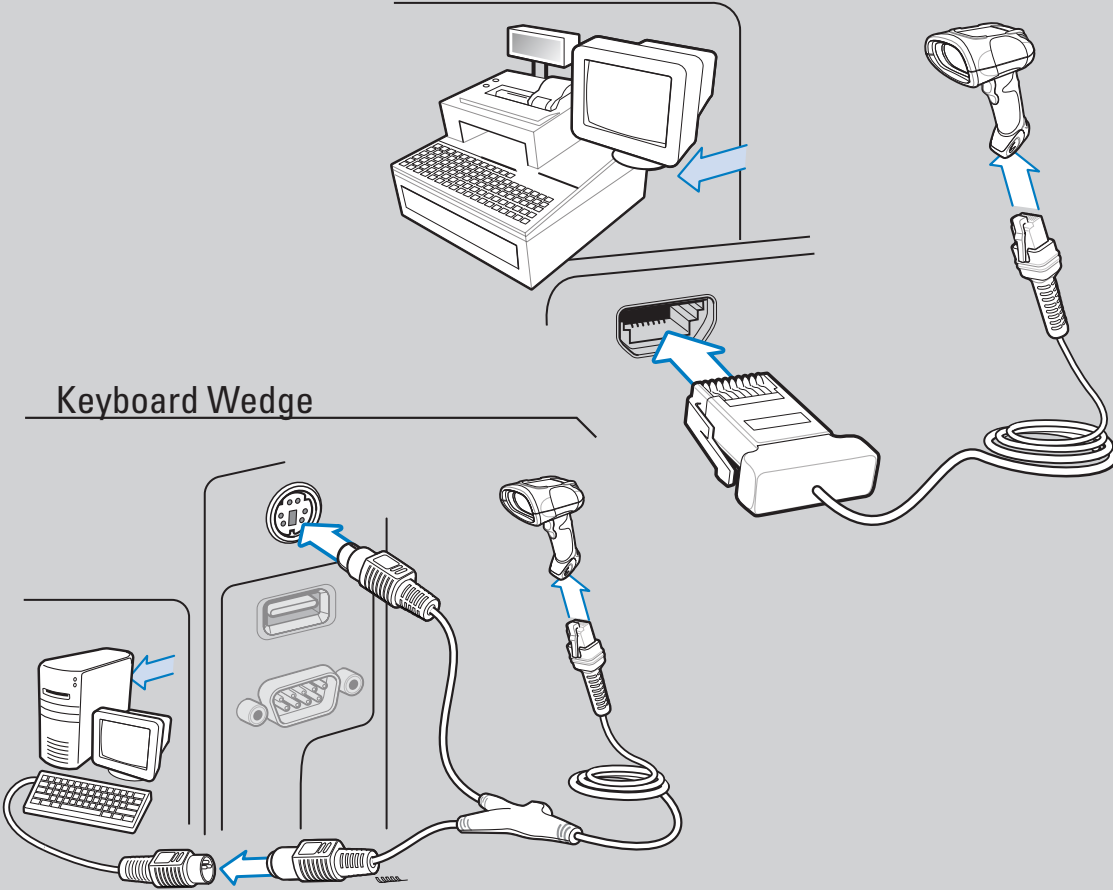
RS-232



USB



IBM 46XX



Keyboard Wedge

トラブルシューティング

スキャナが動作していません。

スキャナに電源が供給されていません。

システムの電源を確認してください。電源が必要な場合は、電源が接続されているか確認してください。

適切でないインタフェースケーブルが使用されています。

正しいインタフェースケーブルが使用されているかを確認してください。

インタフェース/電源の接続が緩んでいます。

ケーブルの接続が緩んでいないか確認してください。

スキャナでバーコードを読み取れません。

スキャナでバーコードタイプがプログラムされていません。

スキャンしようとしているバーコードのタイプを読み取るようプログラムされているかを確認してください。

バーコードが読み取れません。

バーコードに汚れがないか確認してください。同じバーコードタイプでスキャンテストを行ってください。

スキャナとバーコードとの距離が適切ではありません。

スキャナをバーコードに近付けるか、または離してください

バーコードは読み取られていますが、ホストにデータが転送されていません。

スキャナで正しいホスト インタフェースがプログラムされていません。

スキャナのホスト パラメータまたは編集オプションを確認してください。

インタフェース ケーブルの接続が緩んでいます。

ケーブルの接続が緩んでいないか確認してください。

スキャンされたデータがホスト上で正しく表示されていません。

スキャナで正しいホスト インタフェースがプログラムされていません。

スキャナのホスト パラメータまたは編集オプションを確認してください。

SYMBOL LS/DS3408 プログラミング バーコード

デフォルト設定



デフォルト設定

USB ホスト タイプ



HID キーボード エミュレーション



IBM ハンドヘルド USB

RS-232 ホスト タイプ



標準 RS-232



ICL RS-232



NIXDORF RS-232 MODE A

IBM 46XX ホストタイプ



PORT 5B



PORT 9B



NIXDORF RS-232 MODE B



FUJITSU RS-232



OPOS/JPOS

キーボード ウェッジのホスト タイプ



IBM PC/AT および IBM PC 互換機

スキャンして Enter キーを追加
(キャリッジリターン/ライン フィード)



スキャン オプション



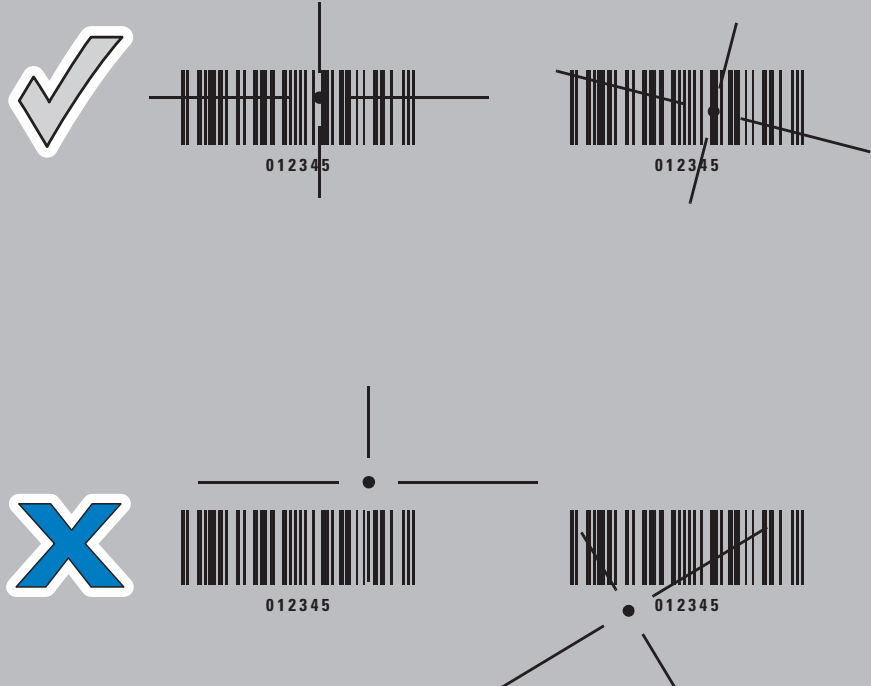
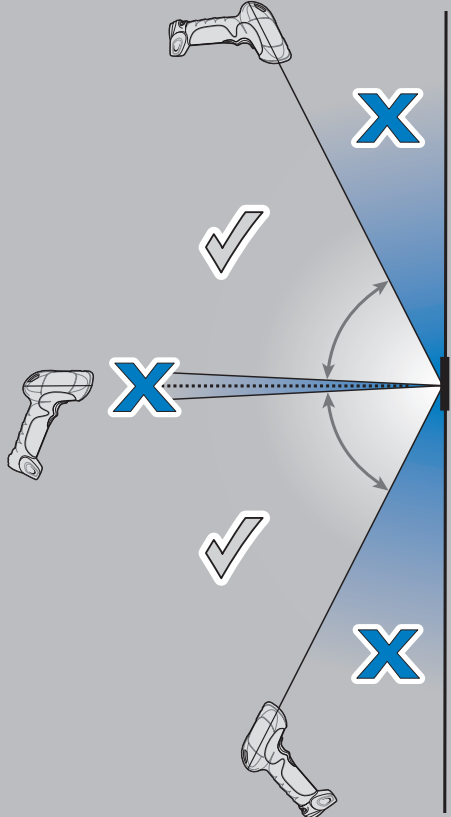
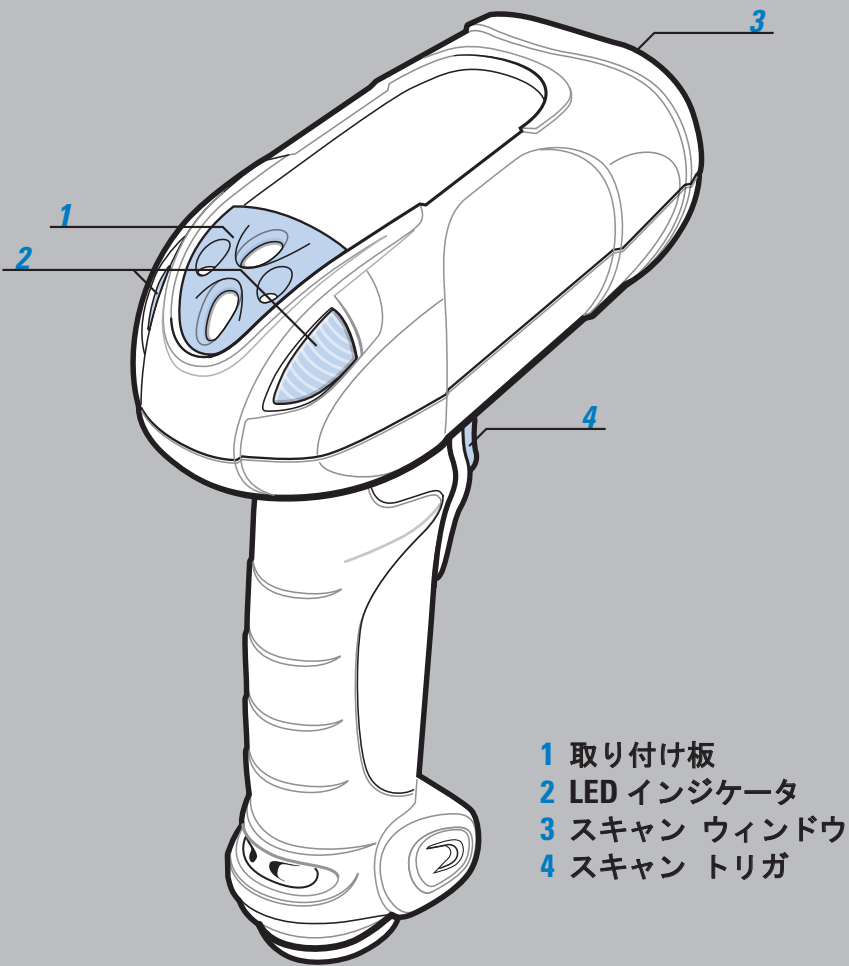
<DATA><SUFFIX>



ENTER

スキャンの有効範囲

正しいスキャン

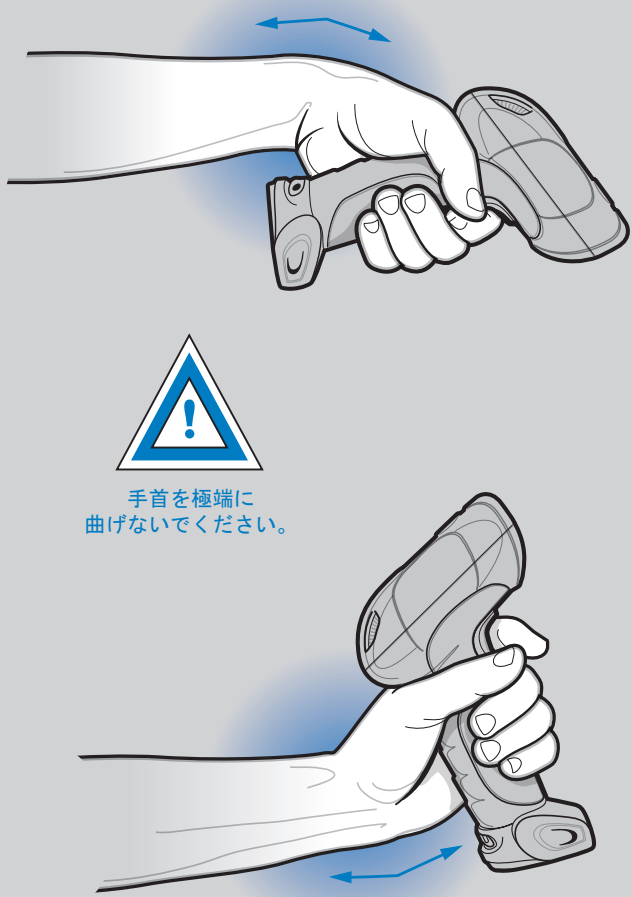


左右の手を交互に使用してください。
適時の休憩とタスク ロテーションを推奨します。

負担がかからない直立姿勢

手首を極端に曲げないでください

ビーブ音の定義



標準的な用途

低音-中音-高音	高音の短いビーブ音	4 回の長い低音のビーブ音
電源投入	バー コードが読み取られました [読み取りビーブ音が有効の場合]	データ転送エラーが検出されました。このデータは無視されます。

パラメータ メニューのスキャン

高音-低音-高音-低音 ビーブ音	高音-低音 ビーブ音	低音-高音 ビーブ音
パラメータ設定が正常に行われました。	正しいプログラム シークエンスが実行されました。	プログラムのシークエンスが正しくないか、[キャンセル] バーコードがスキャンされました。

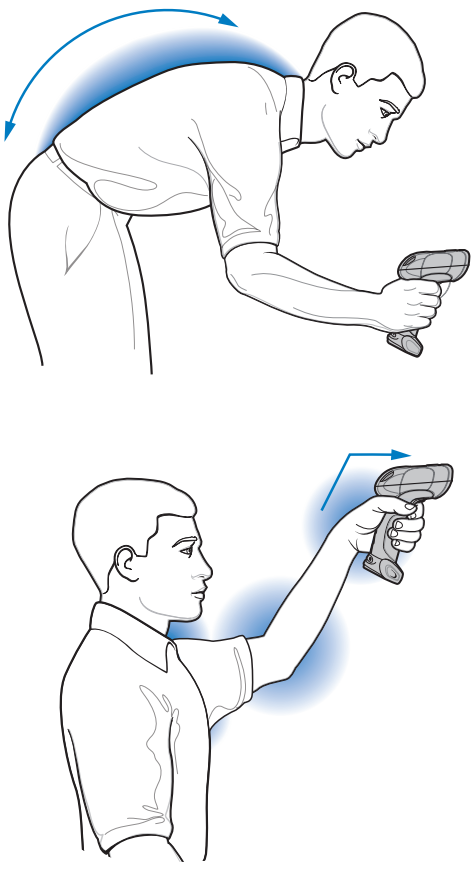
LED インジケータ

消灯	緑色	赤色
スキャナに給電されていないか、または電源が投入され、スキャン待機状態です。	バーコードが正常に読み取られました。	データ転送エラー

負担がかからない姿勢

スキャン位置が低い場合の最適姿勢

指定範囲外でスキャンする場合の最適姿勢



お問い合わせ先: _____

規制に関する情報

© 2010 MOTOROLA, INC. All rights reserved.

Motorola は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的で製品に変更を加えることができます。Motorola は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言またはその他の特許権上または特許上のいかなる方法によるかを問わず、Motorola 製品が使用された組み合わせ、システム、機材、マシン、マテリアル、メソッド、またはプロセスを対象として、もしくはこれに関連して、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Motorola 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

MOTOROLA, Stylized M ロゴ、また Symbol および Symbol のロゴは、Motorola, Inc. の登録商標です。本文書内で言及されている他の製品名は、該当各社の商標または登録商標です。

保証
Motorola のハードウェア製品の保証については、次のサイトにアクセスしてください: <http://www.motorola.com/enterprisemobility/warranty>.

サービスに関する情報
本装置の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本装置に問題がある場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) (<http://supportcentral.motorola.com>) にお問い合わせください。

このガイドの最新版については、以下の Web サイトでご確認ください: <http://supportcentral.motorola.com>.

人間工学に基づく推奨事項

注意: 人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、以下の推奨事項に従ってください。安全に関する社内規定に従って本製品を使用していることを衛生/安全管理担当者に確認し、従業員の負傷を防いでください。

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすかなくするようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすかなくするようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすかなくするようにしてください。
- 直接圧力を受ける作業は、極力減らすかなくするようにしてください。
- 調整可能なワークステーションを用意してください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

規制に関する情報

このガイドはモデル番号 DS3508 に適用されます。このデバイスは、Symbol Technologies ブランドとして認定されています。Symbol Technologies, Inc. は、Motorola, Inc. (「Motorola」) のエンタープライズ モビリティ ビジネス部門です。

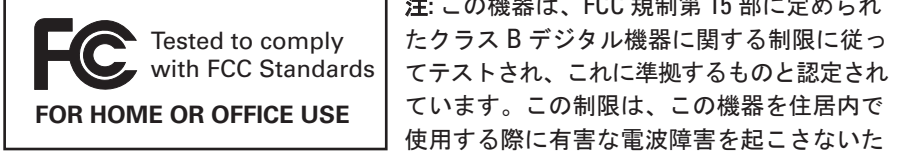
Motorola および Symbol のデバイスはすべて、販売地域の法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じてその旨を記載したラベルが貼付されています。

各言語での情報は、以下の弊社 Web サイトでご確認ください。
<http://www.motorola.com/enterprisemobility/support>

Motorola および Symbol Technologies の機器に変更または改変を加えた場合、Motorola および Symbol Technologies による明示的な承認がある場合を除き、その機器を操作するお客様の権限が無効になる場合があります。

注意:
Motorola および Symbol 承認済みおよび UL 規格のアクセサリのみを使用してください。

無線電波障害に関する要件



注: この機器は、FCC 規制第 15 部に定められたクラス B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波障害を起こさないために規定されたものです。この機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用、および放射する可能性があります。また、操作マニュアルに従わずに設置、および使用した場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、これは特定の設置状況で電波障害が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはテレビ/ラジオの専門技術者に相談してください。

無線電波障害に関する要件 - カナダ

このクラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Marking and European Economic Area (EEA)

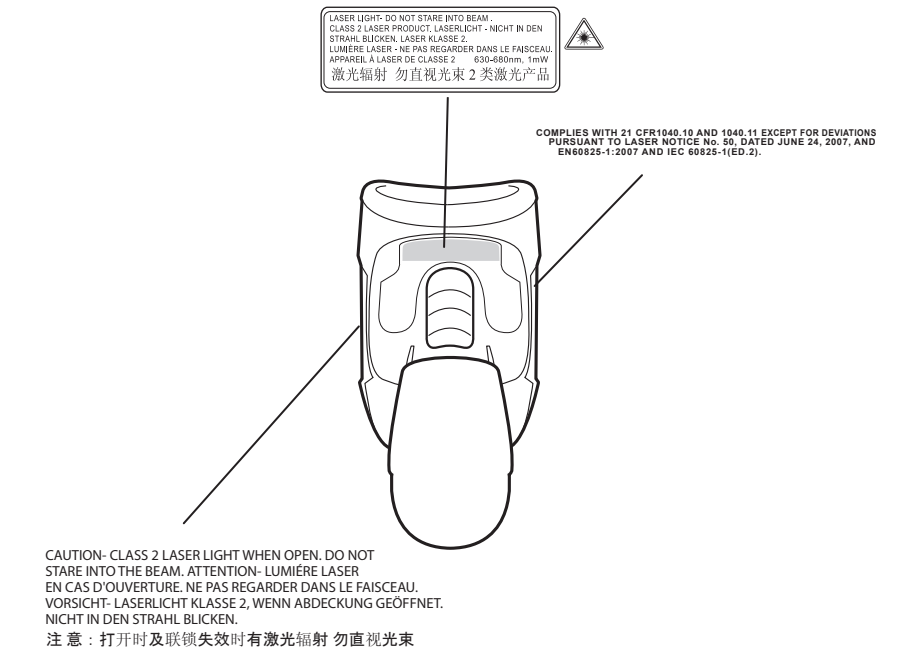
CE
Statement of Compliance
Motorola/Symbol, hereby declares that this device is in compliance with all the applicable Directives, 2004/108/EC and 2006/95/EC. A Declaration of Conformity may be obtained from <http://www.motorola.com/doc>.

レーザ機器

本製品は、21CFR1040.10 および 1040.11 (2007 年 6 月 24 日付けのレーザ通告 50 項の規定を除く) および EN60825-1:2007、IEC 60825-1 (Ed.2) に準拠しています。

Class 2 のレーザスキャナには、低電力の、肉眼で見ることができる発光ダイオードが使用されています。太陽などの非常に明るい光源と同様、光線を直接見ることは避けてください。Class 2 のレーザを瞬間的に照らることが危険かどうかは判明していません。

スキャナに貼付されているラベル



CAUTION: CLASS 2 LASER LIGHT WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO THE BEAM. ATTENTION: LUMIERE LASER EN CAS D'OUVERTURE. NE PAS REGARDER DANS LE FASCEAU. VORSICHT: LASERLICHT KLASSE 2. WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT IN DEN STRAHLEN BLICKEN.
注意: 打开时及取机失效时有激光辐射 勿直视光束

MOTOROLA
Motorola, Inc.
One Motorola Plaza Holtville, New York 11742-1300, USA
MOTOROLA, Stylized M ロゴ, Symbol, Symbol ロゴは、米国、特許商標局に登録されています。その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。
© Motorola, Inc. 2010



72E-124802-01JJA 改訂版 B 2010 年 10 月